OUR SPORTS 東京
新日本スポーツ連盟東京都連盟機関紙

〒170-0013　豊島区東池袋 2-39-2
大住ビル 401
TEL: 03-3981-1345 FAX: 03-3981-8315
E-mail　njsf@tokyo.email.ne.jp

６月号　2010 年６月１日
発行責任者：都連盟理事長　萩原純一

スポーツ愛好者の裾野を広げよう

第７回

東京春季スポーツフェスティバル

東京都連盟では春と秋の年２回ほぼ全ての種目で取り組む全都レベルのイベントがあります。東京都と共催事業である秋のスポーツ祭典は全国大会の予選を兼ねて、より競技性を追及する総合大会です。東京都の後援を受けて開催される春のフェスティバルは、競技性を追及するのだけでなく、これからスポーツをやりたい人たちの要求や、新しい種目に挑戦するなど、よりスポーツの裾野を広げて行くことを目標に掲げています。

今年は、９種目 10 事業で開催されました。（テニスとソフトボールは５月号に掲載、ウォーキング、水泳は次号に掲載予定です。）

男子年令別卓球大会

４月１０日　駒沢体育館

この大会は「男子年令別オープン大会」という、女子に比べて大会数が少ないからなんとかしなくっちゃ、と始めた「男子だけのシングルス大会」です。毎年白熱した試合がくりひろげられています。

●全国祭典へのチャンスを増やそう

今年はスポーツ全国祭典（大会）が東京で開催されます。名実共に最高の大会にするためには強豪達に是非エントリーしてもらいたい。予選が１回だと他の大会と重なって出られないこともあり得るから複数回のチャンスを設定したらどうだろうか、ということで、この大会を「予選その１」と位置づけて開催したところ 222 名のエントリーがありました。

年齢別の部は予想された方々のエントリーがあったのですが、一般の部はあの人この人の名前がなく少し寂しく思いました。その代わり大学生や初めて目にするクラブが多く見受けられました。新しいひろがりが期待できそうです。

●役員メンバーも挑戦しました！

私たち役員４人も挑戦しました。これからの出前大会や諸々の作業の多さを考えると、この予選で出場を決めておきたかったのですが、３人は８月の「予選その２」に捲土重来を期すこととなりました。（東京卓球協　岩本英）

第35回ふれあい赤羽駅伝

4月18日（日）荒川河川敷

今年は天候が不順で当日の天気も心配されましたが、そんな心配は無用とばかりに、見事な駅伝日和となりました。地元のケーブルテレビの取材もあり、確実に地元に根付いた大会となってきました。

●様々な楽しみ方ができるのが駅伝

昨年は、6月開催で熱中症の選手が4、5名出してしまった反省もあり、今年は4月の開催となりました。しかし、この日は霞ケ浦マラソン、長野マラソン、掛川マラソンなどの大会とも重なり、昨年より少ない153チームの参加でした。それでも日ごろの練習の成果をタスキにつないで走るチームや、和気あいあいと仲間と楽しんで走るチーム、走ったあとのビールを楽しむために走るチームなど、さまざまなチームが10時のスタートの号砲とともに駈け出しました。

●石川眼科が逆転で連続優勝を飾る

男子の部は、昨年優勝の石川眼科チームが前半トップのDNP駅伝部を、後半逆転し昨年の記録を上回るタイムで見事優勝しました。

女子の部は、大江戸飛脚会大奥チームが、３区でライバルチームを突き放して優勝しました。

天候にも恵まれ、けが人もなく無事終了することができました。これもあかばね楽走会の会員、北区連盟や当日携わった役員の皆様のご協力のおかげだと思います。来年は参加チームも200チームを目指して取り組んでいきたいと思います。

（実行委員　藤野哲郎）

第32回春季トーナメント サッカー大会

3月28～5月9日　駒沢公園他

さる２月28日に開幕予定だった第32回春季トーナメント大会は、開幕日がグラウンド状態不良で中止となったため、実際は３月28日から５月９日までの期間で実施されました。最終成績は、優勝：ＦＣ ＢＥＥ、準優勝：サンデーＡ、第３位：ＦＣサンデーでした。

●シーズン前の大事な実戦

今回の参加は８チームで、このトーナメントは、リーグ戦開幕前に、各チームが調整のためと、関東大会（現、東日本ブロック大会）代表決定を目的として、東京都サッカー協議会加盟のチームのみで開催されています。東京都サッカー協議会が40チーム以上の勢力を誇っていた時期から、半数ほどのチームの参加が常でした。現在、国内のクラブ数が減少していることもあり、加盟チーム数が17チームになった中、参加が８チームにとどまったのはやむを得ない状況だと思われます。

●人気の出るような質の良い大会運営を

しかし、苦しい時期であるからこそ、現行の大会・行事をしっかり実施することが求められます。その点では決勝戦をはじめクリーンな熱戦が展開され、中身は充実した大会であったと言えると思います。質の高い大会を提供し続ける事で好評を得て、加盟チームを増やすことにつながるようにしていきたいです。

（東京サッカー協　金沢 陽）

第7回東京春季フェスティバル バドミントン大会

５月２日（日）、荒川スポーツセンター

この大会は男女Ｄのあと、混合Ｄもできる形式なので人気があり、地区大会でもよく行われています。荒川スポーツセンターは１０面あり、規模が大きいので、参加者は都内各地から来ているのでバラエティに富んでいて、沢山開かれている春季大会の中では最高に近い盛り上がりだったと思います。

●予想通りにいかない面白さ

今大会私が一番注目する若手選手は、板橋協の楽みんとん所属の今橋と本村（ほんむら）選手。シャトルへのとりつきが早く、タフでミスも少ない。インパクトの直前でコースを変えてくるなど、テクニックがあります。この二人で１部３種目とも優勝するかと思いましたが、下記の結果を見てください。予想通りに行かないところがバドミントンのおもしろさ、です。

●某、大野も優勝を狙い参戦、結果は？

現在のバド大会は大抵満員になるので、通常スポーツ連盟の大会は開催地域の参加者優先で受け付けています。だからこの大会のように、どの地域の方でも出場できる大会が求められています。東京バド協で はこういったオープンの行事を増やしていきたいです。また、今回のようにシニアの部を設けてシニアの参加も増やしたいと考えています。ちなみに私もシニア男子Ｄ（男子５部）に出場し、個人的な予想では優勝でしたが、またしても期待は…。

（東京バド協事務局長　大野文明）

----------大会結果----------

男子１部優勝：水島健一・吉野真幸（宗教法人誠会）
男子２部優勝：清宮啓太・磯恭士（宗教法人誠会）
男子３部優勝：石川正明・石川泰之（フリー）
男子４部優勝：土橋力・佐藤雅宣
（都心バドミントン倶楽部）
男子５部優勝：藤平守・吉田悟（TMヒーローズ）
※大野文明・歌野原洋ペアは惜しくも準優勝
女子１部優勝：柴田展子・本村久美（楽ミントン）
女子２部優勝：杉本あゆみ・中林望（宗教法人誠会）
女子３部優勝：川田奈保美・阿部千鶴香（トリッキー）
女子４部優勝：濁川愛美・根本良美（忍丘）
混合１部優勝：水迫拓摩・西野環（京王ムシキング）
混合２部優勝：服部峻・杉本あゆみ（宗教法人誠会）
混合３部優勝：佐藤翔太・中川裕華（CBC）
混合４部優勝：矢作充・平田美穂（Smile）
混合５部優勝：鎌倉保之・高橋靖子（チームさくら）

第７回東京春季フェスティバル兼 第35回北区春季バスケットボール大会

桐ヶ丘体育館、十条台小体育館

５月３日を第１日目（予選）とし、５月 16 日に３位決定戦、決勝戦を行うバスケットボール大会を開催しました。参加チームは男子 10 チーム、女子６チームでした。宣伝を２月から始めた事もあり、多数の参加希望がよせられたので、残念ながら参加をお断りせざるを得ないチームもありました。競技方法は、女子は予選リーグと順位決定戦を行い、男子はトーナメント戦で行いました。内容としては、男子は予選から延長戦の試合があり白熱した試合となりました。女子は各試合とも接戦の様相を呈し、それが順位決定戦まで持ち込まれ、見ごたえある試合となりました。

この大会は今年の全国スポーツ祭典の予選を兼ねた大会と位置付け、上位入賞チームには推薦をするということで、チームとして今から秋の全国大会に胸を膨らませているところです。

（北区連盟　阿部　治）

男子３位決定戦
PEEPS　93-71　ZERO
決勝戦　SLIIY　95-51　B-FOOL
女子３位決定戦
リリーズ　60-51　タフ・ゴンコ
決勝戦
リスキー　73-52　レイ・クルー

東京都連盟 NEWS

水難事故から大切な命を守ろう「第９回練馬着衣泳講習会」

私たちは、2002 年から１年に１回プールを借りられる貴重な時間を、前半に着衣泳講習会、後半に中長距離水泳記録会を実施しています。今年は一般講習会と併用で、学齢前の幼児にスポットを当て講習会を開催しました。

●スポーツにおける命を守る真剣な取り組みに胸を打たれる

練馬区連盟で、着衣泳はヨーロッパでは当たり前に教育されているのに、島国の日本で全くされていません。それならばスポーツ連盟で実施して広げようということになりました。現在では、一般講習会と併用で学齢前の幼児にスポットを当て講習会も開催できるようになりましたが、初開催時は指導者の方を探すのに苦労しました。たどり着いた長岡技術科学大学の研究者の齋藤先生のお誘いで、2002 年の６月に救急医療情報研究会着衣泳研究部会主催の着衣泳の講習会に、練馬から４人が参加しました。救急救命隊や医師など幅広い分野の方達の水難志望者ゼロを目指す精神と献身性に衝撃を受けました。これが、後の練馬での着衣泳講習会の礎となりました。当時のスポーツ連盟練馬事務局長の堀美臣さんは、「スポーツ連盟もこの課題に対する取組みが必要であることを痛感した。」と日記に綴っていました。2003 年には２人が指導員としての資格を取り、本気で普及活動をしていく覚悟ができました。

●あらゆるところで取り組みが行われる日まで続けよう

着衣泳講習会を、練馬区連盟もスポーツ団体として水の安全講習会をしっかり位置づけて９年間続けてきました。それを保障したのは、研究会メンバーの努力と研究で水難事故を減らせるという骨身を惜しまない強い精神に支えられてきました。これからも、私たちが着衣泳講習会をやらなくても、あらゆるところで実施する環境ができるまでは、毎年開催していく決意です。　（練馬区連盟　江川照子）

今回の練馬着衣泳講習会のチラシ

例年にない参加チームで盛大に開催「第 35 回北区春季バレーボール大会」

●優勝は早稲田理工 OB と都道府県

本大会は、男子 15 チーム・女子 15 チームで４月４日に滝野川体育館で予選が盛大に開催されました。決勝は、５月２日に桐ヶ丘体育館男女 10 チームで行われました。男子優勝は早稲田理工 OB・準優勝は CFC 西大・第３位は ELEMENT、女子優勝は都道府県・準優勝は MH・第３位はアドバンスに決まりました。

● 12 チームが定員から溢れる事態に

今回の特徴は、申し込み段階で 30 チームの枠を超えて 42 チームの参加申し込みがありました。協議会は、今までにない状況の中 12 チームに参加を断念していただくことになりました。参加者が増えたことは喜ばしい事ですが、これまで以上にバレーボール愛好者の声に応えるため、大会会場を増やしニーズに応える活動を展開していきたいと思います。（北区連盟　大平一夫）

新しい種目にチャレンジして、協議会結成

板橋 ミックスバレーボール協議会が発足!!

4月28日に板橋グリーンホールにおいて板橋ミックスバレーボール協議会が結成されました。板橋区連盟がミックスバレーボールの大会を始めてわずか5年。この短い間にどうやって組織をつくり、協議会結成に至ったのでしょうか。板橋区連盟理事の新井正一さんと聞間至さんにお話を伺いました。

板橋ミックスバレー協議会結成総会での一コマ。右が聞間さん

●選手の要求を一緒に実現しよう

「特別なことはないですが、選手の皆さんに支えられ、共につくってきました。」2005年から現在までの活動をこう振り返りました。3月号で紹介したレディースバレーボールと同じく、「選手の思いや要求を良く聞き、一緒に実現すること」を大事にしてきたそうです。ルールや運営方法もキャプテン会議などで、選手の方達と話し合いながら決めてきました。

スポーツ連盟をもっと大きくしたい、新しい種目を区連盟の中に作りたいという思いはずっと前からあったそうですが、それを実現するには、選手の要望を一緒に実現する姿勢が大事だとお二人は口を揃えます。板橋区連盟の隣の北区連盟でもミックスバレーボールが行われていて、普段は板橋でレディースバレーボールをしている方の中にも参加者がいました。その方達に板橋でもやってみませんか、と声をかけるとすぐに歓迎されたそうです。

●オープン形式でより多彩なチームと

選手の試合をたくさんしたいという思いはとても強く、キャプテン会議など運営の場にも積極的に参加してくれるそうです。この要望に応えるため、他の種目で行われている、予選リーグ戦を参考にして、リーグ戦形式の大会を行うことにしました。また、区に後援申請して一般の方に広く知ってもらうこと、区民だれもが参加できる大会を目指しました。そこで、全てのチームに門戸が開かれているオープン参加のリーグ戦を2006年度から始めました。より多彩なチームと試合ができる事につながるので、オープンリーグ形式は大好評だそうです。区の広報などを見て初めて参加したチームが加盟する状況もうまれています。

●選手が主人公の安心な協議会づくり

オープンリーグ大会も数年経験し、参加クラブが増えてきた事もあり、協議会の結成にふみきりました。板橋ミックスバレーボールが今後も発展していくためには選手自身が主人公になり、運営を行っていくことが、安全安心な協議会づくりになります。

選手の意見を大事にする運営姿勢や大会の中身が評価され、選手の間からは「板橋（ミックスバレーボール）は一人ひとりを大事にしている」と評されるようになっています。この板橋ミックスバレーボールを自分たちの力で支えようという意識も育ってきているのでしょう。ローカルルールを設定したり、試合をたくさんできるリーグ戦を行うなど、選手、愛好者の要望に応えることが「柔軟な組織化」に繋がっていると感じられました。

（編集委員　渡辺）

強烈なバックアタック

第29回全国連盟総会で提起された「柔軟な組織化」。これを実現していくうえでみなさんの力になれるよう、各地で取り組まれている様々な組織化を進める取り組みを紹介していく予定です。

真剣勝負でも、和気あいあいとした、独特の雰囲気も魅力です。

東京反核平和マラソンの縁の下の力持ち

給水　アピール　合唱

サポート役員 「反核平和マラソンのススメ」

5月には国連でNPT再検討会議が開かれ、国内では普天間基地の無条件撤去を求め連日全国的な運動が展開されています。このような情勢の中でスポーツを通して「戦争反対」「核兵器廃絶」「軍事基地撤去」をアピールし、多くの人々に訴えていくことができる東京反核平和マラソンは非常に大きな意味を持つ取り組みです。そしてこの東京反核平和マラソンはランナーだけではなく、様々な形でサポートしてくれる役員の方達によって支えられています。今回は縁の下の力持ちであるサポート役員のみなさんから、反核平和マラソンの魅力を紹介していただきます。

様々な種目の人達が声を合せて、「反核平和」を訴えましょう

今年も7月24日に反核平和マラソンが、予定されていますね。ランナーは勿論ですが、サポートするスタッフも募集中です。ランナーだけでは、成り立ちませんのでご協力よろしくお願いします。仕事はランナーよりちょっと先回りして、テーブルをセットして、給水などの準備です。暑いさなかなので、合流するとワイワイと賑います。忙しいですけど結構楽しいですよ。頭から氷水をかける人もいて、びっくりです。

●核兵器廃絶、世界平和を目指し、マイクを握って訴えます

もうひとつ重要なのが宣伝カーからの反核平和の訴えです。マイクを持って思い切りアピールしてくれる方を大々募集です。（マニュアルもあるので安心ですよ。）私は戦争で尊い命をなくした人たちのおかげで、今平和があることを訴えました。

私たちはこの平和を継続していかなければならないと思います。平和だから自分の好きなこと（私なら卓球）もできます。小さな力が大きな力になるよう、是非参加して声を大にして反核平和を訴えましょう。　　北区コース　光橋節子

「頑張ってー！」笑顔でお出迎え

スポーツは平和と共に！「核兵器廃絶」とともに「軍事基地撤去」の思いを

よーく冷えたトマトに、思わず顔もほころびます

みなさん、かつて日本も多くの人々が簡単に命をなくしたり、今の私たちのようにスポーツなど娯楽を楽しむ自由がいない世の中があったことをご存知ですか？元気に生きていけることのあたりまえさがなくならないように、スポーツを通して平和で元気に過ごせることのありがたさを大切にしていきましょう。

私は目黒平和委員会で毎週木曜日のお昼にピースウォークをやっていますが、他区の方々と一緒に平和を訴えて行動を共にすることがなかったと記憶しています。この反核平和マラソンの話があったときは、天にも昇る思いで労働組合や各団体の人たちと共に準備をしました。

●目黒区役所前で疲れを忘れられる楽しい一時をご用意します

当日は冷えたトマトや麦茶、おしぼりなどを用意し、「ノーモアヒロシマ、ノーモアナガサキ」の横断幕を張って、今か今かとランナーの到着を待ちました。ランナーの方達が到着したら平和の歌の合唱でお出迎えです。今回もしばしの楽しい一時を過ごしてもらえたらと思います。ぜひ、南コースの目黒区役所前でお会いしましょう。　　目黒平和委員会事務局長　荻野孝一

他団体と共同して、実行委員会をつくりランナーを盛りたてます

品川地域実行委員会は、夢の島－神奈川（東京～広島～長崎コース）　夢の島―大田（第1回～第12回東京反核平和マラソン）　そして現在の大田―代々木公園のコース全てにランナーとスタッフを送り出しています。品川労協や、JMIU（全日本金属情報機器労働組合）品川地域支部の皆さんが参加し給水所のボランティアとしてランナーのサポートをしてくれています。この暑い時期に走るなんてランナーの方達はよくやるなぁ…と思いますが、我々の用意する冷たい水や冷やしトマトなどがこれまで多くの仲間に提供されランナーを助けてきたと自負しています。今年は24日の開催ということで、当日はぜひ私たちの品川巻きを味わってくださいね。　　品川実行委員会　　筑肘一夫

平和への思いをうたごえにのせて…

全国祭典開催種目紹介 その4 - バスケットボール -

12月18日（板橋区上板橋体育館）
12月19日（板橋区東板橋体育館）

激しく、速い。息つく暇のない試合展開が魅力

●東京では参加者が多く活発。全国祭典での東京勢に期待

全国祭典のバスケットボール大会は、６年前の東北ブロック祭典のバスケットボール大会以来６年ぶりの関東での開催（東京会場）となります。全国的には、種目として愛知と東京と限られた都県大会開催となっていますが、この間、東京春季フェスティバルでは、参加希望が多く、参加を断らざるを得ないチームもありました。

このような状況のもと、第２８回全国スポーツ祭典が関東ブロックで開催するということで、関東ブロックの各都県の協力も得ながら、全国の道府県の連盟組織やバスケットボールチームにも参加を呼びかけ成功をさせていきたいと準備をしているところです。

●若い人を惹きつける競技の魅力

バスケットボールは若い年代層には根強い人気があります。スピード感にあふれ、観戦していても非常に面白いからでしょう。シュートを打つ選手に注目が集まりますが、そこに至るまでのチームプレーもみてほしいですね。ボールを持っていなくても、一瞬たりとも立ち止まっていられないスピーディーな展開を楽しめますよ。

全国祭典バスケットボール担当の阿部治さんに紹介していただきました。

地域連盟交流 ソフトボール大会開催！

スポーツ交流が大好評！！

優勝は都連盟（＋杉並・新宿）チーム

五月晴れの爽やかな晴天の下、「ナイスプレー！」「かっとばせ―！」と歓声が響きあいました。板橋野球協議会の提案により実現した今回の企画は、普段は一緒にプレーすることがないスポーツ連盟の仲間たちと共に汗を流して交流することを目的に行われました。

ソフトボールは大半の方が初経験でしたが「子供も、女性も一緒に楽しめたのが良かった。」「普段は個人競技をしているのでソフトボールはみんなでカバーしたり、盛り上げたりするのが良かった」とみんな大満足でした。また、フェアプレイで行う事を強調し、メンバーが足りなくなったチームには他のチームが助っ人で入るなど、和やかな雰囲気で行われ、本当に楽しい一日でした。

参加者からは「こういう企画を今後も行いたい」という声が多数聞かれました。　（編集委員　渡辺）

試合の後は交流会。上野さん（右端）の音頭で乾杯。会場確保、当日の運営とお世話になりました。

萩原理事長、豪打爆発！？

守備にバッティングに走塁まで女性も大活躍。みなさんとても楽しそうです。

１試合目　都連盟チーム対板橋区連盟チーム　11対10で都連盟チーム勝利
２試合目　北区連盟チーム対板橋区連盟チーム　6対14で板橋区連盟チーム勝利
３試合目　都連盟チーム対北区連盟チーム　11対10で都連盟チーム勝利

2010 国民平和大行進

～スポーツは平和とともにの旗を掲げ参加～

今年で 52 回目を迎える国民平和大行進が 5 月 6 日に夢の島公園を出発しました。8 月 5 日に広島市内に到着するまで、雨の日も風の日も歩き続けます。

「スポーツは平和とともに」のスローガンを掲げるスポーツ連盟として今年も参加しました。都連盟理事では 6 日は萩原理事長が夢の島から港区役所までのコースを、7 日は板垣さんと、私が港区役所から川崎市役所までを歩きました。多摩川を渡る六郷土手で、神奈川県連盟の方々と合流し、川崎市役所ではスポーツ連盟の旗を引き継ぎました。この平和行進は、ただ歩くだけでなく、平和のシュプレヒコールや、合唱で沿道の方に「核兵器廃絶、戦争反対」をアピールしました。私が参加した 7 日は汗がにじむ、蒸し暑い日でしたが、大通りを沿道の人達が注目していて、これが平和をつくる一助になると思うと気持良いものです。

行進者の中には広島まで歩き続ける通し行進者の方もいます。スポーツ連盟が行う 1500 キロ反核平和マラソンも、7 月 27 日に同じく夢の島を出発し、後を追う形になります。通し行進者のみなさん！広島で笑顔で再会しましょう！　（編集委員　渡辺）

「スポーツは平和とともに」のぼり

先頭が通し行進者のみなさん

What's 国民平和大行進？

1958 年 6 月 20 日、被爆地・広島市の平和公園から東京での第四回原水爆禁止世界大会をめざし、西本あつしさんが一人歩き始めました。毎日二人、三人、十人、百人と増えつづけ、東京到着時には数万人の大行進にふくれあがり、参加者は延べ百万人の大行進となりました。その後毎年開催され今では、北海道―東京、東京―広島、長崎―広島など延べ八千キロメートルに及ぶコースが組まれています。毎年の原水爆禁止世界大会の成功を支え、草の根に反核平和の願いと運動を広げ、育てる大事な行動となっています。

都連盟理事会報告

第 13 回　5/10
18 名中　11 名出席

1．全国連盟総会総会決議を受けて

前回に引き続き「柔軟な組織化をどのようにとらえ、実現するかを議論。以前と違い、大会参加型の選手やチームが多くなっていることを受けて、加盟のメリットを提示する必要性が増している。都連盟では把握していないが、月例多摩川ロードや、板橋レディースバレー等、実質スポーツ連盟に組織された人達がいる。これらは柔軟な組織化の一つのかたちと言えるのではないか。財政的な問題と併せてここの種目や地域に合った組織化を追求していく。

2．東京の反核平和マラソンの取り組みについて

チラシがほぼ完成し、支援団体や自治体、個人に早急に送付する。自治体への要請行動を行い、5 月中に殆どの自治体に要請をすませる。当日の体制は次回で。

3．第 28 回全国スポーツ祭典

賛助金の問題について 4 月 23 日に都へ再要請を行い、5 月 11 日に回答が来る予定。併せて 11 月 7 日の野球の会場確保を要請。各大会ごとの予算書を 5 月中に用意する。宣伝用のニュース（特別号）が 6 月 1 日付けで発行されるので都連盟各組織で予選大会に該当するところでは、配布していく。

経過と予定

5/6, 7　国民平和大行進
5/9　地域組織交流ソフトボール大会
5/10　第 14 回理事会
　　豊島区役所総務課へ要請
5/11　東京反核平和マラソン第 2 回実行委員会
　　杉並区役所へ要請
5/13　板橋区役所へ要請
5/21　日本共産党都議団との懇談会
　　[18：30 ～議事堂 6 階・第 1 会議室]
5/23　北区連盟総会
5/27　中野区連盟総会
　　東京自治問題研究集会実行委員会
6/10　東京反核平和マラソン第 3 回実行委員会
6/14　第 15 回理事会

～～編集後記～～

この時期、小学生バレーボール界は夏の全国大会に向けて、各地で予選大会が繰り広げられています。今年はスポンサーが変わって「ファミリーマートカップ」と冠名がついて、8 月のお盆のころに全国大会が開催されます。全国大会の前にまず東京都大会への出場権をあらそう各支部大会がおこなわれます。東京には約１５０チームもあり、東京都大会出場権を得るまでに１チームあたり１５試合ほど競い合います。道のりは大変険しいようです。

小学生のバレーボールに携わってもう２５年、子供らのはつらつとしたプレイを見るたびに、やがて大きくなってこの子らの成長の礎になってくれるだろうという期待とこれで良いのかという不安が入り混じりながら四半世紀がたってしまいました。

今年、全国連盟に「子供スポーツネットワーク」が確立されました。東京の各種目組織や地域連盟の中でも、子供スポーツに携わる方々の交流が行われることを今から楽しみにしています。

子供スポーツでは、会場確保や指導者の確保などの問題の他に指導者の暴力問題、親たちのマナーの悪さなどの問題は山積み。「フェアプレイでスポーツ文化の花咲かそう」のスポーツ祭典スローガンは子供スポーツの中にも息づいてほしいと願わずにはいられません。

（萩原）

都連盟スポーツカレンダー　2010 年7月 ,8 月

卓球

・ハローレディース個人戦　7/7（水）
東京体育館メイン・サブ
・第8回ラージボール大会　7/15（木）　東京武道館
・全国スポーツ祭典予選（団体戦）　8/7､8（土､日）
上板橋体育館、大森スポーツセンター
・全国スポーツ祭典予選（個人戦）
8/28、29（土、日）　大森スポーツセンター
・関東オープン中高生大会　8/19（木）
東京体育館

板橋区
・板橋ジュニア大会　7/18（日）　小豆沢体育館

北区
・北区ダブルスＰリーグ　8/8（日）　滝野川体育館

杉並区
・杉並ジュニア大会　7/28（水）　高円寺体育館

中野区
・中野スリーダブルス　8/ 1（日）　中野体育館

練馬区
・練馬スポーツ祭典　8 /28（土）　光ヶ丘体育館

新宿区
・新宿ペアマッチ卓球大会　7/18（日）
新宿スポーツセンター

大田区
・大田のりのり大会（Ｐﾘｰｸﾞ）　7/14（水）
大森スポーツセンター

多摩地域
・多摩ミックスペアマッチ　7/31（土）
立川柴崎体育館
・多摩ジュニア団体戦　8/23（月）
立川泉体育館

陸上

・第１２回ナイター陸上競技大会　7 /10（土）
江東区・夢の島陸上競技場

北区
・月例赤羽マラソン　7/25（日）、8/22（日）
岩淵堤防土手

多摩地域
・月例多摩川ロードレース　7/11（日）
多摩川・国立ロードコース

水泳

・第 39 回海の水泳教室　7/30（金）～ 8/1（日）
館山・北条海岸

北区
・第 48 回北区スポーツ祭典水泳初心者教室
7/22、29　8/5、12、19（木）　王子プール

スキー

・乗鞍担ぎ上げポールトレーニング
7/17（土）～ 19（祝）　宿泊先：グーテベーレ

テニス

中野区
・区長杯テニストーナメント　7/11（日）
上高田庭球場

練馬区
・練馬スポーツ祭典　7/25　8/1、8、15（日）
土支田庭球場
・第 22 回クラブ対抗団体戦　8/21（土）、22、29（日）　土支田庭球場

バドミントン

・第 13 回夏季高校生オープン大会　7/22、28
駒沢公園屋内球技場
・第 7 回多摩バドミントン団体戦　7/31（土）
羽村市スポーツセンター

板橋区
・第 47 回板橋スポーツ祭典バドミントン大会
7/31（土）　小豆沢体育館

練馬区
・第 42 回練馬スポーツ祭典バドミントン大会
8/7（土）、15（日）　光ヶ丘体育館

新宿区
・新宿団体リーグ戦　7/19（月・祝）
新宿スポーツセンター

サッカー

・第４２回東京サッカー祭典予選　6/6 ～ 7/25
駒沢競技場、足立区サッカー場、他

北区
・第 48 回北区スポーツ祭典サッカー大会
8/8、15、22（日）　北運動場、荒川サッカー場

バレーボール

北区
・第 35 回春季ミックスバレーボール大会　（3部）
7/4　8/8（日）　旧西浮間小体育館、
堀船小体育館
・第 35 回春季ミックスバレーボール大会　（4部）
7/18　8/8（日）　旧西浮間小体育館他
・第 35 回春季小学生バレーボール大会
7/18（日）　十条台小体育館
・第 48 回北区祭典夏季シニアバレーボール大会
7/31（土）　桐ヶ丘体育館
・第 48 回北区スポーツ祭典バレーボール大会予選
8/28（土）　滝野川体育館

板橋区
・板橋レディースバレーボールオープンリーグ大会
7/25（日）　赤塚体育館

野球

北区
・北区連盟リーグ戦　7/4, 18　8/1、15、29（日）
中央公園野球場、又は新荒川大橋野球場

板橋区
・板橋野球リーグ　毎週日曜日
戸田橋野球場、小豆沢野球場他

ウォーキング

・7 月度例会　7/17（土）
JR 高田馬場 早稲田口集合
・8 月度例会　8/22（日）　JR 高尾駅集合

新編集委員の紹介

※都連盟理事長、萩原純一が新しく編集委員に加わりました。早速今月には、編集後記を掲載しております。どうぞよろしくお願いいたします。

読者の皆さんからのお便り

以前と比べると、内容がとても良くなった。各地の取り組みを取材していて、面白い。できれば、カラーで見てみたい。良い内容なので、配布方法を工夫して、もっと多くの人に読んでもらえるようにしてほしい。

板橋区連盟・聞間至さん

機関紙・会報いただきました！

・「スポーツおおさか」５月号
大阪府連盟
・「SportsNet ちば」No.　97
千葉県連盟
・「月刊かながわスポーツ」５月号
神奈川県連盟
・「スポーツ文化」　No.223　宮城県連盟
・「スポーツなかま inTOYAMA」５月号
富山県連盟
・「スキー協通信」　No.319
東京スキー協
・「シーハイル」　４月号
シーハイルスキークラブ
・「卓球協議会便り」　第６号
杉並卓球協議会
・「シャスネージュ」　５月号
町田シャスネージュスキークラブ